

平成 30 年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①多様な学習希望や学習経験のある生徒のニーズに応える「わかった・できた」を実感できる学びを推進し、生徒の学習意欲の向上を図るとともに、一人ひとりのステップアップを意識した教育課程を展開し、確かな学力の育成を図る。</p> <p>②学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な活動の促進を図る。</p>	<p>①生徒の進路希望に即した科目選択を可能にし、履修促進も行う。</p> <p>①「めいほうメソッド」の更なる充実を図る。</p> <p>②学校行事や生徒会活動を充実させる中で、生徒による運営ができるよう人材を育成する。</p>	<p>①昨年度作成した選択科目の帯の改善点の検討を行う。</p> <p>①定期的な生徒・保護者への欠課時数通知を徹底する。</p> <p>①研究授業公開を含め、組織的に授業改善を進め、「めいほうメソッド」を充実させる。</p> <p>②生徒会執行部やフロンティアチームを中心に、自主的な活動を促し、より活発な活動を引き出す。</p>	<p>①平成30年度中に時間割の大枠を作成できたか。</p> <p>①未履修者の割合を20%程度とできたか。</p> <p>②生徒主体の活動をサポートすることができたか。</p> <p>②フロンティアチームの活動を拡充できたか。</p>
2	生徒指導・ 支援	<p>①安全に安心して学べる環境を整えるため、生徒の規律ある生活の徹底による基本的な生活習慣の確立及び規範意識を定着させる。</p> <p>②生徒一人ひとりに応じた支援体制の確立を図る。</p> <p>③部活動を計画的に拡充し、活性化を図る。</p>	<p>①ルールを守り、マナーを身につけた行動を取ることにより、社会の一員としての自覚を持たせるようにする。</p> <p>②生徒情報を共有し、一人ひとりに応じた支援を行う。</p> <p>③部活動加入者の増加と充実・活性化を図る。</p>	<p>①服装・頭髪指導の徹底を継続する。外部機関の教育力を活用し、本校の現状に応じた講演会を実施する。</p> <p>②教育相談組織を円滑に運営し、外部の専門性を生かした支援を行う。生徒理解・支援のための職員研修を行う。</p> <p>③部活動の環境を整え、充実した活動ができるよう支援する。</p>	<p>①問題行動の件数と様態が昨年度より、改善できたか。講演会後のアンケート集約結果</p> <p>②SC・SSW・外部機関を活用できたか。職員研修の実施状況は充実したか。</p> <p>③生徒会や部活動の活動成果を拡充することができたか。また、部活動在籍率30%以上となったか。</p>
3	進路指導・ 支援	<p>社会生活実践力を育成するために、勤労観・職業観を育み、主体的に進路設計ができる力を身につけさせる。</p>	<p>生徒が主体的に将来を考え、個々の能力、関心、適性に応じた進路設計を図り、実現できるような取組みを進める。</p>	<p>・基礎力診断テスト、進路ガイダンス、個人面談等を通して生徒一人ひとりの進路希望を把握し、実現に向けた進路指導の充実を図る。</p> <p>・外部の機関等を活用し、より具体的に生徒の勤労観、職業観を育成し進路に対する意欲を高める。</p>	<p>・非正規雇用希望者は減少したか。また、進路実績は就職希望者、進学希望者ともに90%を達成できたか。</p> <p>・説明会、講演会などを適切な時期に実施できたか。またそれにより内容は充実したか。</p>
4	地域等との 協働	<p>地域や外部の支援団体及び関係機関との連携体制を整備・拡充し、協働した教育活動・学校運営を行う。</p>	<p>めいほう協議会を活用し、これまで進めてきた地域や外部との連携を整備・精査しつつ拡充を図る。</p>	<p>学校説明会等での生徒の活動の拡充、地元小・中学校との授業の連携、ボランティア活動の拡充により、地域の本校理解を進め、生徒のキャリア教育の充実を図る。</p>	<p>学校説明会や地域の行事等への参加生徒数が増加し、生徒のキャリア教育の拡充が図れたか。</p> <p>外部ボランティア参加の延べ生徒数が、5%増加したか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>生徒が安心して学ぶための防災計画や安全管理、校舎の工事に対応する環境整備及び円滑な学校運営体制の構築を図り、信頼に根ざした学校づくりを推進する。</p>	<p>新棟建設に伴う学校内の安全管理や移設に向けた体制を整備するとともに、避難訓練の方法を工夫改善し、生徒の防災意識を高める。</p>	<p>工事期間中の安全対策と防災対策を整備し、状況に応じた避難訓練等を実施するなど、実効的な防災計画に取り組む。また、地域との協働による避難訓練等を計画する。</p>	<p>工事期間中の生徒の安全は保てたか。その期間の防災・訓練方法の改善は出来たか。また、その効果は上がったか。</p>